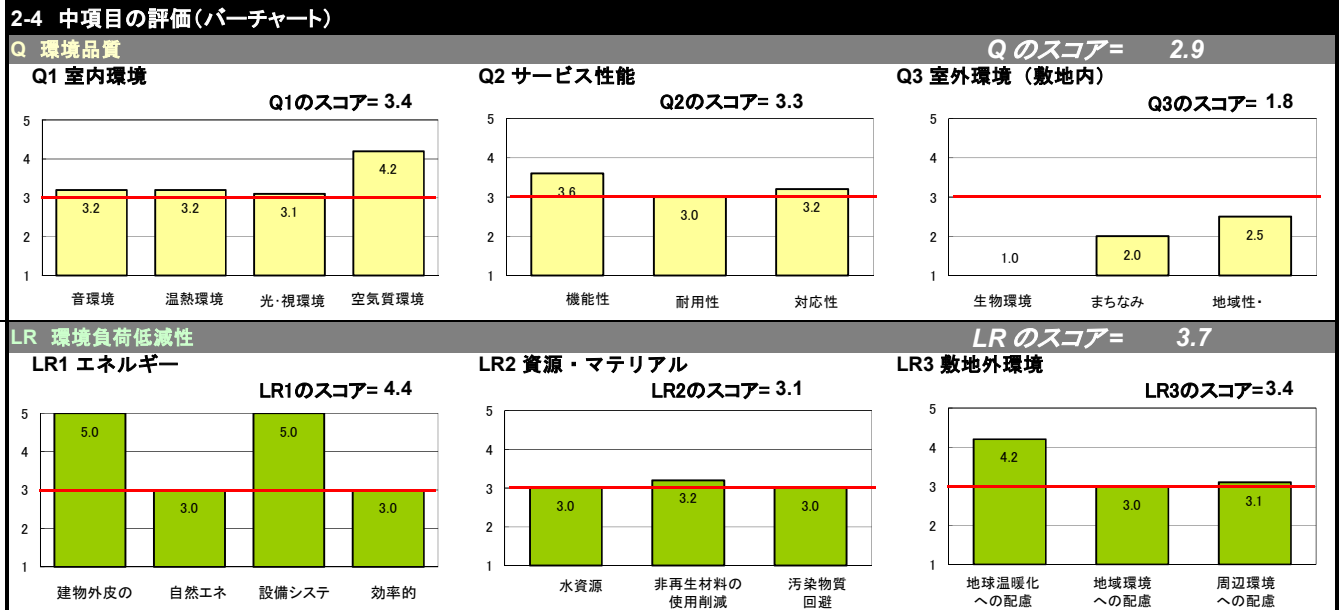
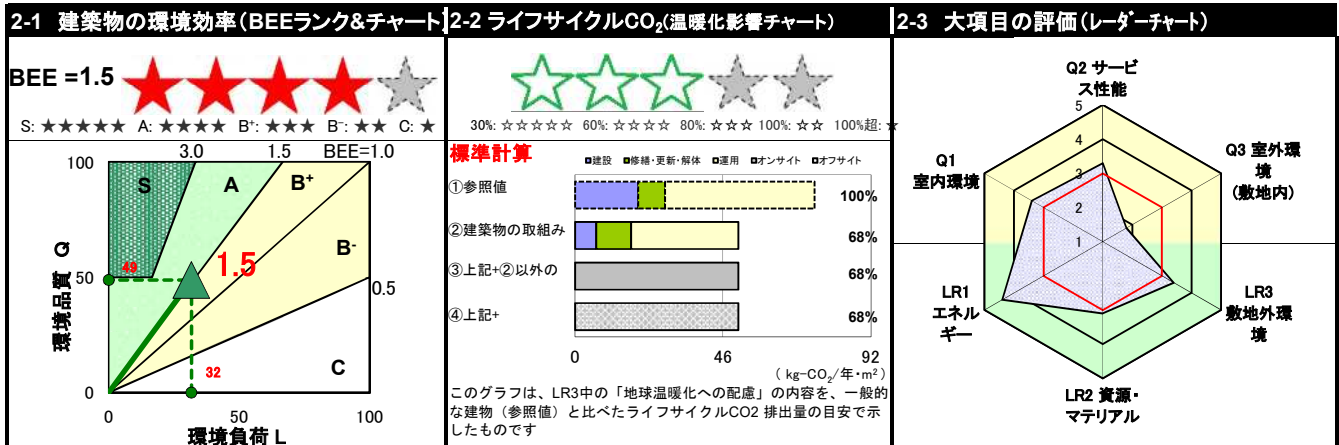


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 24005

建築物名称	プライウド登戸
建築主	野村不動産株式会社 住宅事業本部 事業開発三部長 浜岡 健
建築物の所在地	川崎市多摩区登戸字辛耕地3295他13筆 (換地 同所予定地番100街区8区画)
設計者氏名、建築士事務所名	古明地 利郎 株式会社ジャイロアーキテクト 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	4,685.88㎡
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上15階
工事完了予定年月	令和9年1月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	太陽光発電

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観		24005
建物名称	プライド登戸		階数	地上15F	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地	川崎市多摩区登戸字幸町地3295地13第1(土地同所予定地第100街区8区画)		構造	RC造	
用途地域	商業地域、防火地域		平均居住人員	220 人	
地域区分	6地域		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅		評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年1月	予定	評価の実施日	2024年4月15日	
敷地面積	867 m ²		作成者	株式会社ジャイロアーキテツ	
建築面積	412 m ²		確認日	2024年4月15日	
延床面積	4,686 m ²		確認者	株式会社ジャイロアーキテツ	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-川崎2023(v.4.0)

プラウド豊戸

24005

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点 注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.4
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上		1.6/4.3	1.8
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.3
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 昼光利用設備 3.2 3.2.1 昼光制御	住:断熱等性能等級5相当 カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御	2.1/2.5	4.1
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上		0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住:断熱等性能等級5相当 BEI=0.64	4.4/5.0	4.4
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 3.2 フロン・ハロンの回避		2.9/4.7	3.1
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.4
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	日本住宅性能表示3-1劣化等級3	0.3/0.5	3.5
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減		2.5/4.0	3.2
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.0
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上		0.8/2.3	1.7
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住:断熱等性能等級5相当 BEI=0.64	4.4/5.0	4.4
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.1**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点 注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数	日本住宅性能表示3-1劣化等級3	0.1/0.1	5.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.7/1.2	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住:断熱等性能等級5相当 0.64	4.4/5.0	4.4

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		実施設計段階									
配慮項目		重点項目				環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
		G	W	R	H						
Q 建築物の環境品質											2.9
Q1 室内環境								0.40		-	3.4
1 音環境							3.0	0.15	3.3	1.00	3.2
1.1 室内騒音レベル						—	3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音							3.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能						住戸：開口部遮音性能 T-2	3.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						—	-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						—	-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						—	-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						—	-	-	-	-	
2 温熱環境							2.4	0.35	3.3	1.00	3.2
2.1 室温制御							3.0	0.50	3.7	0.50	
1 室温						—	3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能			W			住：断熱等性能等級5相当	3.0	0.38	5.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						—	-	-	-	-	
2.2 湿度制御						—	3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式						—	1.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境							2.4	0.25	3.3	1.00	3.1
3.1 昼光利用							3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光率						—	3.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口						—	-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備			W			—	3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策							1.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御			W			住：カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御	1.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度						—	3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						—	3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境							4.2	0.25	4.2	1.00	4.2
4.1 発生源対策							5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質						F☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用	5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気							3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量						—	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能						—	-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						—	3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理							-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視						—	-	-	-	-	
2 喫煙の制御						—	-	-	-	-	
Q2 サービス性能							—	0.30	-	-	3.3
1 機能性							2.4	0.40	3.8	1.00	3.6
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性						—	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						Gbitクラスのプロードバンド設備を整備	-	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画						—	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性							1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						—	-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						—	-	-	-	-	
3 内装計画						—	1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理							3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						—	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						—	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性							3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振							3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						—	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						—	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数							3.5	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				R		日本住宅性能表示3-1劣化等級3	5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				R		—	2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				R		住：壁)20年(ビニルクロス貼り)、天井)30年(ビニルクロス貼り)、床)20年(ビニル床シート貼り)	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				R		—	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				R		主な用途2種以上にB以上を使用し、Eは使用しない	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				R		—	2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性							2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						—	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						—	2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						—	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						—	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						—	2.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性								3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
	3.1 空間のゆとり								-	-	3.6	0.50	
	1	階高のゆとり						階高は2.90m以上	-	-	4.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ						-	-	-	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり							-	-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性							-	3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性						-	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性						-	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性						-	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性						-	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性						-	3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保						-	3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)									-	0.30	-	-	1.8
1	生物環境の保全と創出				G	W		H	-	1.0	0.30	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮				G				-	2.0	0.40	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮								-	2.5	0.30	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上								-	2.0	0.50	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上				G	W		H	-	3.0	0.50	-	
LR 建築物の環境負荷低減性									-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー									-	0.40	-	-	4.4
1	建物外皮の熱負荷抑制					W		H	住:断熱等性能等級5相当	5.0	0.20	-	5.0
2	自然エネルギー利用					W		H	-	3.0	0.10	-	3.0
3	設備システムの高効率化					W		H	BEI=0.64	5.0	0.50	-	5.0
4	効率的運用								-	3.0	0.20	-	3.0
	集合住宅以外の評価								-	-	-	-	
	4.1	モニタリング				W		H	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制				W		H	-	-	-	-	
	集合住宅の評価								-	3.0	1.00	-	
	4.1	モニタリング				W		H	-	3.0	0.50	-	
	4.2	運用管理体制				W		H	-	3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル									-	0.30	-	-	3.1
1	水資源保護					W	R		-	3.0	0.20	-	3.0
	1.1 節水								-	3.0	0.40	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用								-	3.0	0.60	-	
	1	雨水利用システム導入の有無							-	3.0	1.00	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無							-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減								-	3.2	0.60	-	3.2
	2.1 材料使用量の削減					W	R		-	2.0	0.10	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用					W	R		-	3.0	0.20	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					W	R		-	3.0	0.20	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					W	R	断熱材	-	3.0	0.20	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材					W	R		-	2.0	0.10	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					W	R	住:内装が乾式工法で分別が容易	-	5.0	0.20	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避								-	3.0	0.20	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用								-	3.0	0.30	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避								-	3.0	0.70	-	
	1	消火剤				W			-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)				W			-	3.0	0.50	-	
	3	冷媒				W			-	3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境									-	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮					W			LCCO2排出率を参照値より抑えている	4.2	0.33	-	4.2
2	地域環境への配慮								-	3.0	0.33	-	3.0
	2.1 大気汚染防止								-	3.0	0.25	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善				G	W		H	-	3.0	0.50	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制								-	3.0	0.25	-	
	1	雨水排水負荷低減					R		-	3.0	0.25	-	
	2	汚水処理負荷抑制					R		-	3.0	0.25	-	
	3	交通負荷抑制					R		-	3.0	0.25	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制					R		-	3.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮								-	3.1	0.33	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止								-	3.0	0.40	-	
	1	騒音							-	3.0	1.00	-	
	2	振動							-	-	-	-	
	3	悪臭							-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制								-	3.0	0.40	-	
	1	風害の抑制							-	3.0	0.70	-	
	2	砂塵の抑制							-	1.0	-	-	
	3	日照阻害の抑制							-	3.0	0.30	-	
	3.3 光害の抑制								-	3.7	0.20	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						広告物照明無し	-	4.0	0.70	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						-	-	3.0	0.30	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0	-	-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	-	-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0	-	-	1.0	1.0	2.0	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	1.0	-	-	-	3.0	-	-	-	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	-	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC -	窓の日射熱取得率(η) -
U値(W/m ² K)	窓システム -
住戸部分システムU値 -	外壁 -
外壁UA値 -	床 -
ηAC -	ηAH -

屋光率	0.0%
自然換気有効開口比	0.0%

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ² ツイン	.0m ²
コンセント容量	0.0 VA/m ²					

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

天井高	0 m
-----	-----

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	0 m
----	-----

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	0.0%
-------	------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	- N/m ²
-----	--------------------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	50%	建物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	45%	水平投影面積率	12%	地表面対策面積率	29%	舗装面積率	0%
-----	-----	---------	-----	----------	-----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	-	断熱等性能等級	等級4を超える 相当
----------------------	---	---------	------------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI _m	非住宅	-	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
----------------------	-----	---	----	---	-----	------	------	------	-----	------

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品E	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(C)	地球温暖化係数(GWP)
-------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(C)	地球温暖化係数(GWP)
-------------	--------------

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(C)	地球温暖化係数(GWP)
-------------	--------------

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	#DIV/0!	棟間隔指標Rw	-
地表面対策面積率	48.0%	屋根面対策面積率	#DIV/0!
見付面積Sb	m ²	1:越風向と直交する最大敷地幅Ws	0 m
緑地	88m ²	水面	m ²
保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²
再帰性反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²

24005

プラウド登戸

このマンションは分譲住宅環境性能表示の届出を行っています。

建築主は分譲共同住宅環境性能表示を販売広告に掲載した日から15日以内に届け出ることになっており、これにより公表しています。



この表示は川崎市の定めた基準に従って、建築主が自らの計画を評価した内容に基づいています。